

2025 年 5 月 14 日

株式会社 F I S

フレックス少額短期保険

代表取締役・立見秋司のインタビューが「全国賃貸住宅新聞」に掲載されました

この度、株式会社 FIS の代表取締役・立見秋司のインタビューが「全国賃貸住宅新聞・企業研究」に掲載されました。

■掲載媒体および発行号

全国賃貸住宅新聞 2025 年 5 月 5 日号

企業研究 Vol.287

『DX と新卒採用で収益を強化』

～賃貸借契約の際に欠かせない少額短期保険で、通信販売型の商品でシェアを拡大するFIS(フレックス少額短期保険)の立見秋司社長に、同社の事業戦略や人材育成などについて話を聞いた。～

《立見秋司プロフィール》

株式会社 FIS 代表取締役 立見秋司

1982 年 9 月 千葉県生まれ。

早稲田大学法学部卒業後、日本生命保険相互会社に入社。

人事関係の仕事をする7年、営業のバックオフィス業務を2年。営業部長職を3年。

2017 年 4 月株式会社FIS(フレックス少額短期保険)入社。

2018 年 7 月代表に就任

今後も、「あんしんの「しん」になる。」というブランドミッション実現を目指し、安心して“住まう”あたりまえの創造のため、様々な活動を続けてまいります。

＜本件に関する問い合わせ先＞

【ご照会先】 株式会社 F I S / フレックス少額短期保険

経営管理部

【電話番号】 03-6911-2094

【営業時間】 月～金 10:00～17:00

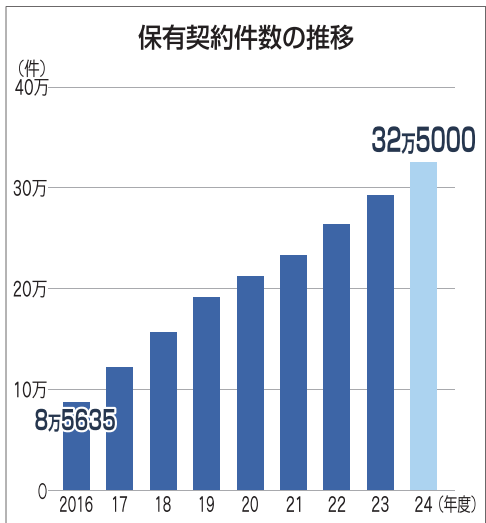
土・日・祝・年末年始はお休みとさせていただきます。



立見 秋司 社長(42)

社長プロフィール

1982年9月、千葉県生まれ。早稲田大学法学部卒業後、日本生命保険相互会社に入社。人事関係の仕事を7年、営業のバックオフィス業務を2年、営業部長職を3年経験。2017年4月、FIS（フレックス少額短期保険）入社。18年7月、社長に就任。



※グラフはFIS提供データを基に全国賃貸住宅新聞で作成

DXと新卒採用で収益を強化

企業研究

vol.287

FIS(フレックス少額短期保険)

通販型商品で拡大
18年間で32万5000件

創業以来18年間、賃貸不動産市場において少額短期保険の取扱件数を伸ばしてきたという

ですが、現在の保有契約件数を教えてください。

2024年度末時点での保有契約数は約32万5000件となります。保険料収入は同時点で約34億円、提携する不動産会社数は全国でおよそ2300社に上ります。

創業以来一貫して、特定のエリアや一部事業者への偏りなく、安定したサービスと品質を提供することを重視してきました。年間の新規契約数も、おかげさまで右肩上がりとなり、今後はさらに提携会社のサポート体制を充実させていく予定です。

賃貸借契約の際に欠かせない少額短期保険。通信販売型の商品でシェアを拡大するFIS(フレックス少額短期保険…東京都新宿区)の立見秋司社長に、同社の事業戦略や人材育成などについて話を聞いた。

得意とされている「通販型」の少額短期保険とはどのような仕組みですか。

一般的な代理店型とは異なり、保険会社と契約者が直接契約を行う仕組みです。そのため不動産管理会社は、保険募集行

入居者さまの保険に対するリテラシーが高まっている中、不動産管理会社の従業員の方が、しっかりと保険の内容を理解

契約の98%を占めます。なお孤独死などの社会問題にも対応している補償内容になっています。高齢者の単身入居のリスクを受け止め、すべての物件で公平に商品を提供する姿勢や、事故時の対応スピード、柔軟な補償内容もおかげさまで評価してもらっています。特に孤独死や室内損害への備えを重要視する管理会社から喜ばれています。

「育てる文化」が根付き始めたことが大きな変化でした。人に仕事を教えるコスト削減効果も大きく、業務効率が格段に改善しています。

「家賃債務保証会社と連携していますが、その狙いは。」

「保険業界では事故があった際、不正(過大)に補償を請求される場合があると聞きます。不正請求については、当社でも課題があると考えており、一定の審査やリスク管理を徹底しています。やはり損害率が上がると全体の保険料に影響してきますので、全契約者に対して保険料を維持するため、そこは入念に対応しています。」

「今後の事業展開は。」

「当社は、不動産管理会社向けのコールセンター事業などを手がけるグループ会社があります。広い視点で事業を捉え、保険ビジネスにとどまらず、不動産管理事業に役立つサービスを提供していく方針です。業界のインフラ的存在を目指し、ホールディングス体制を強化しています。また、より包括的なDX支援にも力を入れています。保険という入り口から、不動産業界全体の生産性と安心感を底上げする存在になりたいと考えています。」

社長に就任後2軸で組織を変革

立見社長は18年より社長を務められ、今年で8年目になります。特に取り組んだことは何ですか。

19年から新卒採用をスタートしました。これはかなりドラスチックな変化をもたらしたと感じています。新しい風が入ることです。社内の雰囲気もとても良くなりました。

DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進しています。新しい風が入ることです。社内の雰囲気もとても良くなりました。

「業務の効率化、生産性の向上などで取り組んだことは。」

「業務の効率化、生産性の向上などで取り組んだことは。」

「業務の効率化、生産性の向上などで取り組んだことは。」

「業務の効率化、生産性の向上などで取り組んだことは。」

「業務の効率化、生産性の向上などで取り組んだことは。」

「業務の効率化、生産性の向上などで取り組んだことは。」